

---

# マッドドッグ

ごはんライス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

マッドドッグ

### 【Nコード】

N2053Q

### 【作者名】

ごはんライス

### 【あらすじ】

違法いたずら集団「マッドドッグ」のクレイジーでお茶目な日々……。

## 駅前お寿司事件（前書き）

前書きが穴に落ちた

## 駅前お寿司事件

不法いたずら集団「マッドドッグ」を知ってるかい？

警察もお手上げのやんちゃなやつらさ。

本日、午後八時。保育園の前にある公園にメンバーが集まる。

ひとときでかい男。２メートル近い。スキンヘッドでひげを生やしサングラスをかけ、黒い服を身にまとっている。マッドドッグのリーダー 豆川ジョニーだ。

「いいかお前ら。今から駅前に行くぞ」

「おーっ」

マッドドッグメンバーは一輪車にまたがり、すごいスピードで歩道を走る。

駅前広場に到着。時刻は午後八時半。

マッドドッグメンバーは一輪車を噴水の前に停める。

マッドドッグメンバーは机を広げ、その上に酢飯の入った桶と、マグローヤサバを置く。

そして、素早く握る。

握った寿司を次々と通行人に配る。

みんな迷惑してる。ついには警官がやってきた。

「こらお前ら。妙なことをするんじゃない」

マッドドッグメンバーの一人が警官の口にサバ寿司をねじこんだ。

「もぐもぐもぐ。けっこう旨い」

怒るに怒りにくい警官である。不味かったらもつと怒れるが。

「だけど公共の場で勝手に寿司を配るのは違法だ。逮捕する」

全員、手錠をかけられた。

翌日、新聞の三面記事に載った。意外とマッドドッグは読者に人気があるので、新聞社は密かに喜んでいる……。

## 駅前お寿司事件（後書き）

後書きをおにぎりに入れると意外に旨い

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2053q/>

---

マッドドッグ

2011年1月18日21時52分発行